

# おおやまさき

広報

1

2016(平成28)年

あけまして  
おめでとーございませー。  
【写真は長寿苑陶芸サークルが  
製作した干支の置物】



### ごみの出し方

	収集日程	収集内容
年始	1月1日(祝)～3日(日)	収集はありません
	1月4日(月)から	平常どおり

問=経済環境課(内243・245・246)

### 今月の主な内容

- 新年のごあいさつ P 2
- 平成27年 秋の叙勲、褒章 P 4
- 「聴こえの教室」のご案内 P 4
- 旧役場の発掘調査をしました P 5
- 大山崎町公園アンバサダー制度の参加者を募集しています P 6
- 木造住宅耐震化事業のご案内 P 6
- 嘱託職員、臨時職員を募集 P17

vol.576

<http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp>

# 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆様には、ご家族そろって健やかに平成28年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、新しい年が皆様にとって素晴らしい一年となりますようにお祈り申し上げます。

一昨年12月に町長職のバトンを受け継ぎ、子どもたちの笑顔に励まされ、人生の先輩方からお智恵を頂戴し、同世代の皆様へ刺激をいただき、本当に多くの方に支えられていることを実感した昨年一年間でした。

この間私は、「笑顔が生まれるまちづくり」を掲げて各施策に取り組んでまいりました。  
縁あってこの町に暮らす人、働く人、訪れる人。それぞれのご縁を育んで、人と人とのふれあいや、つながりのある温かいまちを作りたい。そのことが、皆さんの笑顔につながっていくのだと確信しております。

昨年は、住民の皆様の手によって秋のまつりが開催されるなど、もともとこの町に根付いていた皆様のおかげの強さが目に見える形で「力」となっていることが感じられ、大変嬉しく思っています。本年も引き続き、皆様の力を引き出す仕掛けを展開していききたいと思います。そんなまちは災害にも強く、また、超のつく高齢化社会にも対応できるものだと考えています。

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆様には、平成28年の輝かしい新春を、健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げますとともに、本年が町民の皆様にとって最良の一年になりますようお祈りを申し上げます。

私が町議会議長に就任させていただき1年が過ぎましたが、町政のさらなる発展と、円滑な議会運営と開かれた議会を目指し、議員の皆さんと微力ではありますが誠心誠意努力をしております。

本年も心新たに、「ふるさと大山崎町」のさらなる発展のために、議会と行政が両輪となって全力を尽くす覚悟で頑張ります。昨年を顧みますと、世界ではISによるフランスにおける同時テロ、エジプトでの航空機爆破テロなど、欧米によるアラブの春と言われた民主化戦略の破たんが露呈しました。また中国の海洋進出によるアジア情勢の不安定化が進んでおり、1951年に締結されたサンフランシスコ講和条約以降、領土拡大を行った国は中国とロシア2カ国となり世界情勢は混とんとしています。我が国、日本の平和と安定を心から願っています。

一方国内に目を転じますと、北関東・茨城県常総市周辺を中心とする大規模豪雨災害の発生など、想像を超える大規模災害が発生し、多くの住民の生命・財産が失われました。南海トラフの3連動大規模地震の

## 天王山に抱かれたこの町で 笑顔を生み出す

いま、国におきましては、本格的な人口減少社会が到来する中、東京一極集中を是正し、地方が特色ある取り組みで活気を見出す「地方創生」が進められています。

大山崎町も、小さいながらも「キラリとひかるまち」をつくり、「大山崎町ここにあり」と力強く打ち出していきたいと考えています。決して誇示ではなく、そうして意気込むことで、町の皆さんのこの町への愛着や町を誇りに思う気持ちを、より強くすることができるとも思っています。  
その、キラリとひかる特色を生かした取り組みとして、ただいま本町では、勝負の代名詞となっている「天王山」を前面に出した町のPRに取り組んでいます。

今まさに、天王山に挑んでいる人。これから天王山を迎える人。天王山に挑む人を支える人、見守る人。将来の天王山のために、今は力を蓄えている人。かつて天王山を乗り越えた人。そんなそれぞれの皆さんを、町のシンボルとなっているこの山は、優しく見守ってくれている気がします。

私も、そのなだらかな稜線と、背景に広がる青空に、幾度、勇気や癒しをもらったことがありません。  
この瞬間も、天下分け目の歴史ドラマに思いを馳せながら、今年一年に考えを巡らせています。  
どうぞ皆様にとって、幸多い一年になりますよう、お祈り申し上げます。

大山崎町長

山本圭一  
やまもと けいいち



## 「ふるさと大山崎町」の さらなる発展のために

発生の確率が高まっている中、「災害に強いまちづくり」を行政・議会だけでなく住民の皆様とともに創り上げなければなりません。そのためには自助・共助・公助の観点からそれぞれの地域における自主防災組織のさらなる設立にご理解とご協力をお願いします。

現在、アベノミクスは第2ステージに入っておりますが、残念ながら地方はその恩恵を享受できていません。地方創生元年と言われる今年ですが、本町の財政状況は依然として厳しく、多くの課題が山積しております。「二元代表制」の一翼を担う議会としては、限られた財源の中、優先順位をつけ、町執行部と切磋琢磨し、現状を乗り

越える覚悟が必要と考えております。皆様へ選ばれた議員が、その資質向上はもちろんです。町民の皆様の声をもとに、政策提言や議論を行い町政を発展させることが重要です。

本年も、本町議会は活発な議論を行い政策決定、行政の監視という議会本来の使命を果たし町民の皆様への付託に応えるべく、精一杯精進してまいります。  
結びにあたりまして、本年も議会に対してご支援、ご理解、ご協力を賜りますよう心からお祈り申し上げます。大山崎町のさらなる発展と町民の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



大山崎町議会議長

北村吉史  
きたむら よしふみ

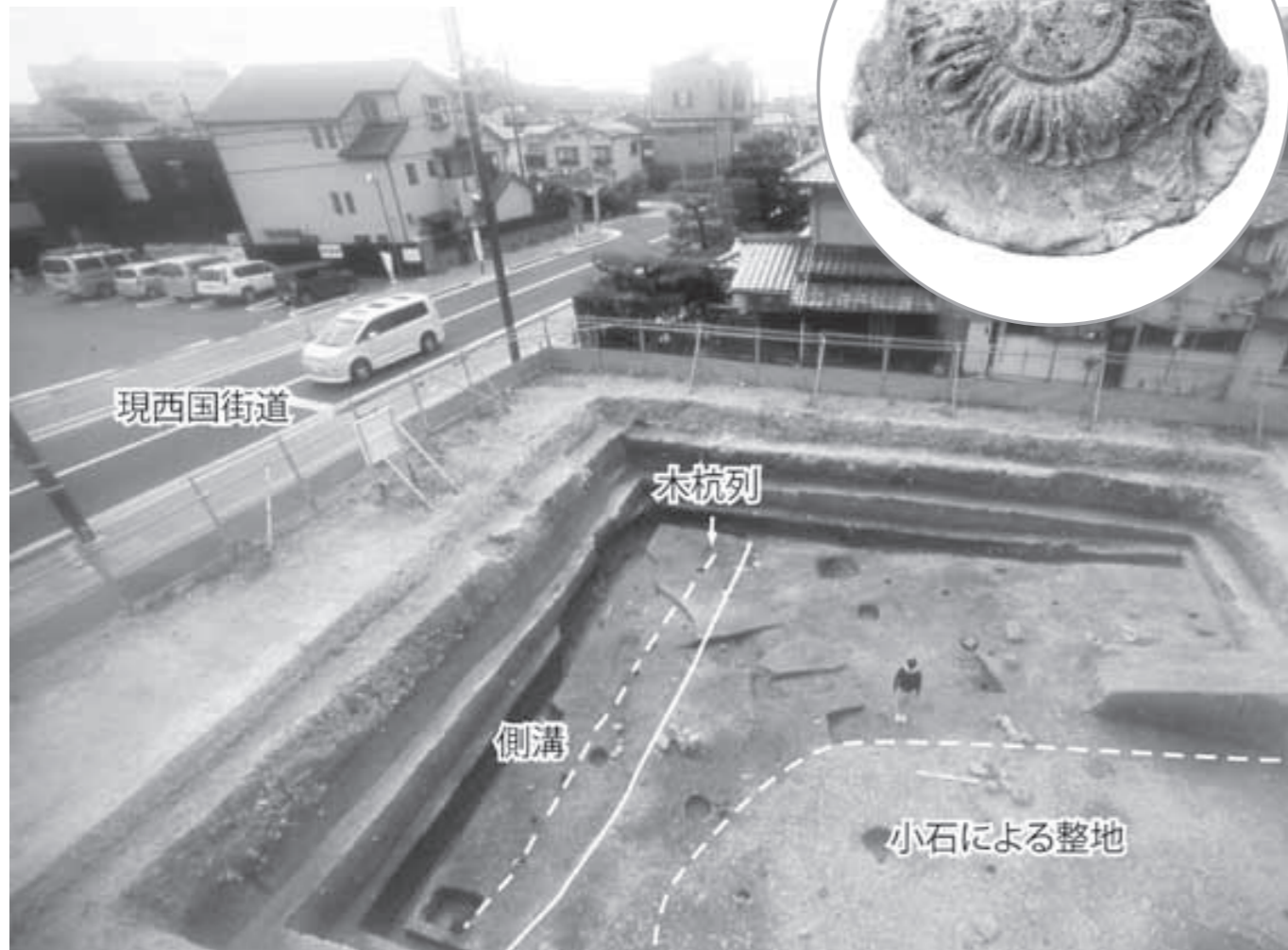


▲遺物(土器)の出土状況



▲調査区より天王山をのぞむ(東から)

▼発掘調査全景(北から)



▶平安京西寺と同じ型で作成した瓦

# 平成27年 秋の叙勲、褒章

受賞おめでとうございませう

平成27年秋の叙勲、褒章で、大山崎町在住の2人の方が受賞されましたので、ご紹介いたします。



## 藍綬褒章

公益や教育などの分野で尽力された方に授与されるものです。

尾崎 光年さん



昭和15年1月27日生まれ。小倉神社宮司。平成6年から保護司の活動をはじめ、現在も保護司として活躍中。

「一人ひとりの方とじっくりお話をし、向かい合うのがお仕事。雑談を交えながら、人生に対する考え方なんかを話し合ったりします。」

## 旧役場の 発掘調査をしました

旧役場（大山崎小字松原36番6）跡地において、老人福祉施設建設に伴う発掘調査を、平成27年8月上旬～10月下旬に行いました。調査地の東に隣接する西国街道は、平安時代（約1,200年前）の山陽道を踏襲しています。現在の役場周辺では、山陽道周辺において住居などの生活痕跡が検出されています。

今回の調査では、山陽道の側溝の縁辺に、杭と板で護岸をしている様子がうかがえました。護岸は、側溝からあふれ出る水を防ぐ機能を果たしたようです。その西側では、軟弱な地盤に小石を敷き、広場のような土地利用をしていたことがわかりました。また、多くの出土遺物の特徴は、ここで暮らした人々が、都にかかわる階層であったことを示しています。

今回の調査によって、平安時代の人々は軟弱な地盤を整地して有効に利用し、山陽道周辺に生活域を広げていたことがわかりました。

問Ⅱ生涯学習課文化芸術係（内227）



で終わりではない。そういった方たちが更生し、あとでひょっこり顔を見せてくれたりするときに、いちばん嬉しいですね。」

今回の受賞の感想を聞くと、「ひとつひとつ、直面していることに真面目に取り組んできた結果だと思っております。」と真摯な答えが返ってきました。しかし、これを業績と捉えてはいないといいます。「私はこの活動を通して、自分なりの人生観など、さまざまなことを学ぶことができています。立場は人を作ります。この受賞が残ることで、私の後世の人たちも感謝や、思いやりの心を持って『自分もがんばろう』という気持ちになっただけ嬉しそうです。」

## 瑞宝中綬章

公共的な業務に長年従事し、成績をあげた方に授与されるものです。

塩尻 詢さん

昭和11年1月22日生まれ。京都工芸繊維大学名誉教授。教育研究功労関係分野で、瑞宝中綬章を受章。

※塩尻さんは、ご意向によりお名前、経歴のみのご紹介とさせていただきます。

## 「聴こえで悩んで いませんか」 の「聴こえの教室」 のご案内

「最近、聴こえにくくなった」「テレビの音が大きい」「家族の声が聞き取りにくい」など、お悩み、心配はありませんか。言語聴覚士と障がい当事者が相談を受けます。ご家族の方の参加もお待ちしております。

ときⅡ1月27日(午後)1時30分～3時30分  
ところⅡ大山崎町立中央公民館1階ホール  
内容Ⅱ学習会&相談会「聴こえづらいこと  
で困っていませんか?」聴こえのしくみの  
学習会・福祉機器の紹介および障がい当事  
者を交えた座談会を行います。

講師Ⅱ荻野晴生さん(府聴覚言語障害センター)言語聴覚士、長岡京市難聴者協会会員  
対象Ⅱ聴こえに不自由を感じている方とそ  
のご家族、聴覚障がい者福祉に関心のある  
方。どなたでもご参加いただけます。

申込締切Ⅱ1月22日(金)

※情報保障(要約筆記・磁気誘導ループ)があります。  
※身体障害者手帳、補聴器をお持ちの方は  
ご持参下さい。  
問・申込Ⅱ福祉課社会福祉係  
☎956-2101(内152)  
☎957-4161